

支線バスの導入状況（令和8年4月1日時点）

■ 再編後のバスネットワーク （10方面／17支線）

①一宮方面 R9.4～
 ・支線を備前一宮駅まで延伸
 ・幹線、支線ともに増便

②津高方面 R8.10～
 ・支線を大型商業施設や国立病院まで延伸

③高島方面 運行中
 ・支線を備前原駅まで延伸
 ・支線を増便

— 支線(バス) — 幹線(バス)
 - - - 幹線(鉄道)
 ● 乗継ポイント(幹線-支線)
 ● 乗継ポイント(鉄軌道-支線)

⑨庭瀬方面 運行中
 ・庭瀬駅へ接続する支線を新設
 ・幹線の便数適正化

④東山方面 運行中
 ・幹線の重複路線を集約
 ・支線を協立病院まで延伸
 ・路面電車との乗り継ぎ環境整備

⑧妹尾方面 R8.10～
 ・妹尾駅へ接続する支線を新設
 ・幹線の便数適正化

⑤牛窓方面 R8.10～
 ・支線を岡村-心堂病院、西大寺病院へ延伸

⑩拠点間をつなぐ支線の新設 運行中
 ・妹尾駅～北長瀬駅、妹尾駅～岡南、芳泉～岡南をつなぐ支線の新設

⑥沖元・平井方面 R9.4～
 ・並走区間の路線集約
 ・幹線を増便

⑦岡南方面 R8.10～
 ・支線を労災病院まで延伸
 ・支線を増便

全体の効果

路線バスの運行区間
16km増
 (340km⇒356km)

路線バスが接続する駅
4駅増
 (33駅中10駅⇒14駅)

公共交通アクセス圏人口
約1.7万人増
 (54.3万人⇒56.0万人)

乗換なしで病院に行けるバス路線の沿線人口
約5万人増

